

【会場アクセス】

電気ビル本館 7号会議室

(福岡市中央区渡辺通2-1-82地下2階)

TEL: 0120-222-084 FAX: 092-781-0709

【西鉄電車】

- ・西鉄天神大牟田線「薬院駅」より徒歩5分

【タクシー】

- ・天神より5分・JR博多駅より7分
- ・福岡空港より25分

【西鉄バス】

- ・「博多駅前A番」停留所より乗車
→「渡辺通1丁目」停留所降車すぐ
- ・「天神大丸前4C」停留所より乗車
→「渡辺通1丁目」停留所降車すぐ

【地下鉄】

- ・七隈線「渡辺通駅」降車(電気ビル本館B2Fへ直結)



【参加申し込み方法】

下記の申込内容を、NPO法人まるまで、FAX、郵送、Eメールでお知らせください。

お申し込み先 | NPO法人 まる

〒815-0041 福岡市南区野間3-19-26 TEL: 092-562-8684 / FAX: 092-562-8688

ウェブサイトからのお申し込みはこちら⇒<http://popo.or.jp/info/2014/11/care-solution.html>

【申し込みフォーム】 FAX ⇒092-562-8688

必要事項をご記入のうえ、該当する項目にチェックをいれてください。

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ利用させていただきます。

ふりがな	ご所属(よろしければ、活動先・活動内容などをお書きください。特になければ記入不要です)	
お名前		
ご住所(□ご自宅/□勤務先等) 〒		
TEL(□ご自宅/□勤務先等)	FAX(□ご自宅/□勤務先等)	
Eメール(□ご自宅/□勤務先等)		
参加希望日※できる限り3回連続でご参加ください。		
<input type="checkbox"/> 第1回11/2 <input type="checkbox"/> 第2回11/9 <input type="checkbox"/> 第3回11/23		
交流会参加希望(参加費2,500円/回) ※プログラム終了後、講師・参加者が自由に語り合います。ぜひご参加ください。		
<input type="checkbox"/> 第1回11/2 <input type="checkbox"/> 第2回11/9 <input type="checkbox"/> 第3回11/23		
通信欄		

【お問い合わせ】

一般財団法人たんぽぽの家(担当:小林・佐賀)

〒630-8044 奈良市六条西3-25-4

TEL: 0742-43-7055 FAX: 0742-49-5501 E-mail: carecare@popo.or.jp

「ケアする人のケア」連続講座

ケアとソリューション

今、ここに、共に生きる。

参加費
無料



©ISHII Yukio/Able Art Company

わたしたちが生きている社会には、正解のない難問が山積みしています。介護・介助、子育て、教育などのケアの問題もそのひとつで、いわゆる正解など存在しません。「カネ・モノ・セイド」で解決できるという考え方もありますが、それらは人と人とのつながりを引き裂いていることを忘れてはなりません。「つながる つながる つながるなかで わたしはわたしをみつけだす」(俵万智の詩の一節)

わたしたちは生まれてから死ぬまで愛情と人間的ぬくもりのつながりのなかで生きているのです。ここを原点に「ヒト・セイカツ・イノチ」で今ある社会をつくり変えていくことが求められています。そのためにはケアの現場にある自由な発想と身体的直観を働かせて、これまで積み上げられてきた専門知を組み立て直すことが必要です。

この連続講座では、これからの社会に必要な新しい「集合知(コレクティブ・インテリジェンス)」を創造し、難問解決のきっかけづくりをしたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。

第1回 11月 2日(日) 13:00~17:00 ケアとソーシャルビジネス

営利/非営利の一義的な対立を超え、同じ場に置くことで生まれる化学反応。

第2回 11月 9日(日) 13:00~17:00 ケアとテクノロジー

「軍事・産業」から「ケア・アート」へ。人間の幸福のために科学技術は何ができるか。

第3回 11月 23日(日) 13:00~17:00 ケアとソーシャルデザイン

足元にある空間とみずからつながり、決定し、「共に生きる」社会を創造する。

会場 電気ビル本館 7号会議室(福岡市中央区渡辺通2-1-82 地下2階)

参加費 無料

対象

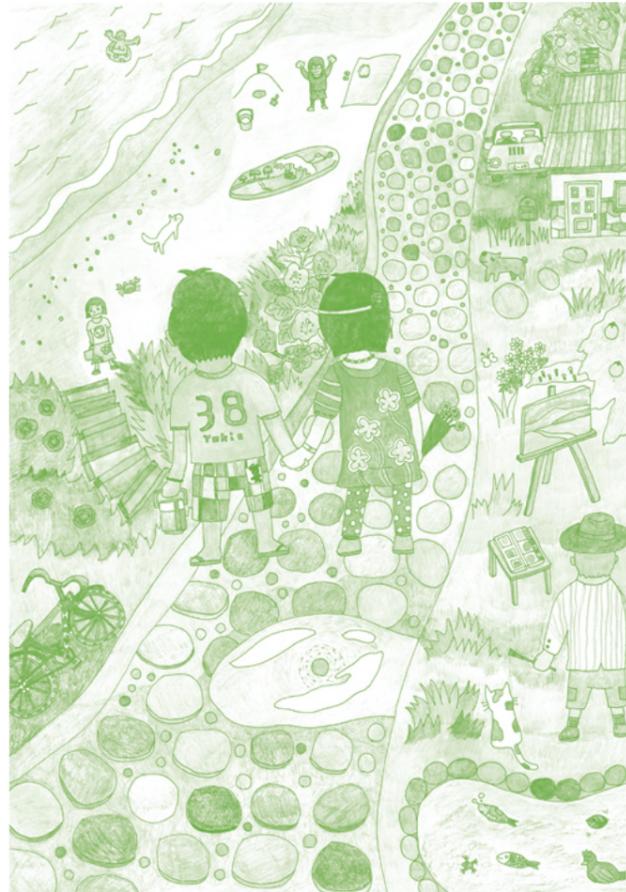
- ・介護や子育て、教師や医師など、普段の生活のなかでケアにたずさわっている人
- ・ケアする人をケアしている個人や団体(NPO・事業所・企業・行政など)
- ・ケア事業や、ケアする人をケアする活動を維持したい・発展させたい人

定員 90名

主催:一般財団法人 住友生命福祉文化財団・一般財団法人 たんぽぽの家 特別協力:特定非営利活動法人 まる

ケアとソリューション

今、ここに、共に生きる。



©ISHII Yukio/Able Art Company

	11月2日 (日)	11月9日 (日)	11月23日 (日)	
12:30	受付	受付	受付	12:30
13:00 }	基調講演	基調講演	基調講演	13:00 }
14:00	ケアとソーシャルビジネス ビジネスとは何か目的を達成するための活動のこと。高齢の人、障がいのある人の福祉や子育て支援など、社会的(ソーシャル)な問題解決を達成するための、持続可能な活動について考えます。  中村 陽一 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授/東京)	ケアとテクノロジー テクノロジーは「生活を支える心強い味方」です。これまで身体的・精神的に人を支えてきたテクノロジーをケアの世界に活かす事例に学び、ケアにテクノロジーは必要かを問い直します。  塩瀬 隆之 (京都大学総合博物館准教授/京都)	ケアとソーシャルデザイン 「ソーシャルデザイン」とは「より良い社会を考え、組み立てること」。自分たちが身のまわりの社会を変える・つくる・より良くするキッカケを“ソーシャルインクルージョン”から学びます。  平井 康之 (九州大学芸術工学研究院准教授/福岡)	14:00
14:00	休憩	休憩	休憩	14:00
14:10 }	事例報告	事例報告	事例報告	14:10 }
14:50	制度を超えた福祉をつくる 制度やサービスに生活を合わせるのではなく、付き添いや看取りなど、本人の暮らしの楽しみや困りごとに応じた多様なケアを実践。福祉の世界に「指名制」を取り入れた視点、売上の7割が自費サービスで行われている事業性を学びます。 柳本 文貴 (NPO法人グレースケア機構代表/東京)	ケアとアート 障がいのある人の表現活動をもとに新たな価値観を提案しているNPO法人まる。障害や、ケアに対するイメージを揺さぶるアートプロジェクト、サポーター育成、多様な人を包摂するまちづくりの実践から、「よく生きる技術」としてのアートの力を学びます。 樋口 龍二 (NPO法人まる代表理事/福岡)	心のケア 認知症の人とその家族を地域で支えるカフェ「みちくさ」。ケアマネージャーとして働きながら、地域の人が自然と足を運べる居場所をつくる取り組みについて学びます。 矢野 成美 (認知症カフェみちくさ代表/熊本)	14:50
14:55 }	事例報告	事例報告	事例報告	14:55 }
15:35	尊厳ある生き方をまもる 支えの必要な人の生活をトータルで考える、想像的で創造的な介護とは?重度化を防ぐ予防のケアや、地域を巻き込んだ支え合い活動、人を育てることについて学びます。 見野 孝子 (株式会社LCウェルネス代表取締役/静岡)	シェアと子育て テクノロジーに必ずつきまとう不安と不信感。それを払拭するリアルとネット世界の融合から生まれる助け合いの仕組みとは?子育てを「シェア」する、人生の幅をひろげる選択肢について学びます。 甲田 恵子 (株式会社AsMama代表/神奈川)	生活のケア 18年間特別支援学校の養護教諭として、障がいのある人たちと関わりながら、メイクセラピスト活動を行ってきました。特に女性の生活には欠かせない“化粧”で、人のこころを支えるメイクボランティアの実践について学びます。 酒造 志保 (shin.shinフレンド倶楽部代表/兵庫)	15:35
15:35	休憩	休憩	休憩	15:35
15:45 }	事例報告	事例報告	事例報告	15:45 }
16:25	若者は介護をめざす 生きづらさを抱える人に寄り添い、一人ひとりに丁寧にかわる〜価値観や理想を大切に、ケアする人もケアされる人も生き生きとなる空間をつくるために何が必要か考えます。 藤淵 安生 (宅老所「玄玄」代表/広島)	ケアとロボット 未知なる可能性をもつロボット。人間に置きかわるものではなく、人間と共生することを目指す研究が進められています。「漫才ロボット」を通じて、ケアにおけるロボットの可能性について学びます。 灘本 明代 (甲南大学知能情報学部教授/兵庫)	関係のケア 認知症で徘徊する人を地域で支える「大牟田モデル」。認知症の人も安心して外出できる支え合いのネットワークづくりと、これからの展望について学びます。 猿渡進平 (大牟田市中央地区 地域包括支援センター/福岡)	16:25
16:30 }	パネルディスカッション	パネルディスカッション	パネルディスカッション	16:30 }
17:00				17:00